

『笠間市・保健福祉部・地域包括センター主催』

楽しく学ぶ
わたしと家族の備え

R8 認知症サポーター 養成講座

笠間高校会議室にて行いました



参加した生徒は、認知症の種類や傾向を知る機会となり、認知症の方への接し方についてとても理解することができました。

茨城県内で一番若い認知症の方は18歳との話を受け、とても驚いていました。認知症の問題は、人事ではなく自分事として考えられるようになったようです。



生徒の感想

- ・認知症という病気は身近にあることに気づきました。
- ・認知症の人にイライラしたり強く当たったりせずに、周りで支えあっていこうと思った。
- ・認知症は自分もつらいし周りの人もつらいんだなと理解しました。
- ・認知症に対して強く当たったりせず、対応を変えたり、その人が安心してもらえるような環境をつくることを心がけたいと思った。
- ・今まで認知症は、自分にはあまり関係のないことだと考えていました。講座を受けて、認知症の方の言動や行動を否定するのではなく、受け入れて共に暮らしたいと思います。

